

# 子ども記者クラブ

ほくは、「子ども模擬議会」が本当の議場で行われていたのでびっくりしました。市役所の中に大きな議場があることにもっと驚きました。

議会を見ていると、いろいろな質問に、教育委員会や総務部、産業部など、担当の部の人たちが答えていました。

それを聞いていよいよ、市はそんな取り組みをしているのかと、市が実施している取り組みについて分かり、とても自分のためにもなる答えばかりでした。

ほくは子ども記者として参加し、写真を撮つたり、議会の様子を取材用の紙に書いていました。取材は、重要な部分を書き落とさないようになつて、写真は重要な場面をブレないように写すことが大変でした。

記者さんの苦労を実感しました。

今回記者として「子ども模擬議会」に参加したことは、とてもいい体験になりました。

ほくは、「子ども模擬議会」が本当の議場で行われていたのでびっくりしました。市役所の中に大きな議場があることにもっと驚きました。

議会を見ていると、いろいろな質問に、教育委員会や総務部、産業部など、担当の部の人たちが答えていました。

東小学校 杉浦 充さん

宍塙小学校 中西 里緒さん

私は記者として子ども模擬議会に参加しました。

市役所の中はとても広くてびっくりしました。

宍塙小学校の子ども議員の大久保真子さんの、「給食を残しても給食の量は減らないのか」という質問に対して、教育長さんは「給食を残しても給食の量は減らないので安心してほしい」と答えてくださいました。

ほかにも、教育長さんは、「給食センターで作られた量の約20%が戻つてきている」と言つていました。

ほかの学校の子ども議員さんたちも、いろいろ質問して市長さんたちがしつかりと答えてくださつていました。



子どもも模擬議会の取材を体験する「見・聞く・書く・表現する力」を育てる目的として作られた「子ども記者クラブ」は、今年で10回目を迎えました。

子ども記者たちは、議員たちの質問や答弁の様子をカメラに納めようと奮闘し、しっかりとその内容のメモを取っていました。

ここでは、今回の活動を通して普段は得られない様々な経験をした、子ども記者たちの感想をご紹介します。

菅谷小学校 塩野 美菜さん

7月5日、私は、羽成温朗さん、嶋田航さんと子ども模擬議会に出席しました。

私は嶋田さんと一緒に記者の役目でした。最初は、きちんとメモがとれるか、写真はつまづく撮れるかといろいろ不安がありました。でも、嶋田さんがとても面白いことを言ってくれたので、緊張もほぐれました。

そして、羽成さんが議員として意見を言うときには、きちんとメモをとり、カッコよく写真も撮ることができました。

菅谷小の質問は、「校庭の芝生化について」でした。羽成さんは一生懸命に、質問文を覚えてくれました。嶋田さんも私も記者としてがんばりました。私は、3人がすぐがんばつたことがとてもうれしくて、議会が終わったときには満足し、達成感を味わうことができました。



山ノ荘小学校 野口 忍斗さん

7月5日のやじも模擬議会でいくは記者になら、やじも議員さんの質問をメモするなりました。

記者の井浪あずさんと一緒に野翼さんと一緒に市役所の中へ入っていったときはすこく緊張しましたが、だんだんと慣れていました。前半をテレビで見た後に、後半は記者席で見ました。



そして最後に、山ノ荘小学校の「コミュニティバスの運行について」という質問がありました。「お年寄りや体の不自由な人には必要なもの」という返事が返ってきました。ぼくはお客様の少ないバスというイメージを持つていましたが、必要な人もいると知つてなるほどと思いました。

一生に一度の素晴らしい経験ができ、とてもよかったです。

